

2017年2月1日

創業 80 周年記念事業
「長谷工テクニカルセンター」を東京都多摩市に新設
2月1日に着工
～技術関連の機能集約、情報発信拠点～

(株)長谷工コーポレーション（本社：東京都港区、社長：辻 範明）は、平成 29（2017）年 2 月 1 日に、東京都多摩市鶴牧にて「長谷工テクニカルセンター」の建設工事に着手しました。

当社では 1975 年に技術開発本部を本社内に設置して以来、「安全・安心、快適な住まい」をつくるための要素技術の研究や最新の技術開発に取り組んでまいりました。

近年では、マンション事業主や管理組合など、社外から技術拠点への来訪者が増加しており、当社グループにおける新築・既築の研究・技術開発を分かり易く伝える機能がより一層求められています。

このことから、創業 80 周年記念事業の一環として、グループの技術関連機能を集約するべく「長谷工テクニカルセンター」を新設し、生活者の目線に立った安全・安心、快適に住まうための研究・技術開発を行うとともに、広くマンション事業主や行政、管理組合などエンドユーザーに対して新技術・新商品・技術検証等を情報発信する拠点として充実を図ることと致しました。

【「長谷工テクニカルセンター」の主な役割】

①「長谷工技術研究所」・「長谷工コミュニティ 技術研修センター^(※1)」・「長谷工コミュニティアウル 24 センター^(※2)」を集約

- ・研究・技術開発における実証・実験の活動拠点
- ・長谷工グループにおける技術 P R
- ・プロジェクト（主にマンション事業）における環境調査や施工検証、検査等の支援
- ・サービス関連事業における技術面での支援
- ・長谷工グループの技術的知見、情報の収集・蓄積・体系化

（※1）長谷工の技術力を結集した、高度な機能と設備を持つ研修施設

（※2）総合監視センター。専門スタッフがマンションを 24 時間 365 日オンラインで監視。

②「(仮称) 長谷工ミュージアム」の新設

- ・大人から子供まで長谷工グループのものづくりの想いや姿勢、実績などを見て、触れて、感じて、学べる「参加型コミュニケーションの場」

【「長谷工テクニカルセンター」の施設概要】

所在地：東京都多摩市鶴牧 3-1-1

最寄駅：多摩モノレール「多摩センター駅」、京王相模原線「京王多摩センター駅」、小田急多摩線「小田急多摩センター駅」（徒歩約 8 分）

敷地面積：17,663 m²（5,343 坪）

延床面積：約 8,800 m²（約 2,660 坪）[管理棟（技術研究所、長谷工コミュニティ関連施設、(仮称)長谷工ミュージアム、展示室）、住宅実験棟（免震）、多目的実験棟で構成]

構造・規模：管理棟/鉄骨造 3 階建て、住宅実験棟/鉄筋コンクリート造 4 階建て、多目的実験棟/鉄骨造 1 階建て

着工：2017 年 2 月 1 日

竣工予定：2018 年 3 月末日

開館予定：2018 年 6 月

【「長谷エテクニカルセンター」の完成予想図】



【「長谷エテクニカルセンター」の完成予想図（鳥瞰図）】



【「長谷エテクニカルセンター」の完成予想図（外観）】